

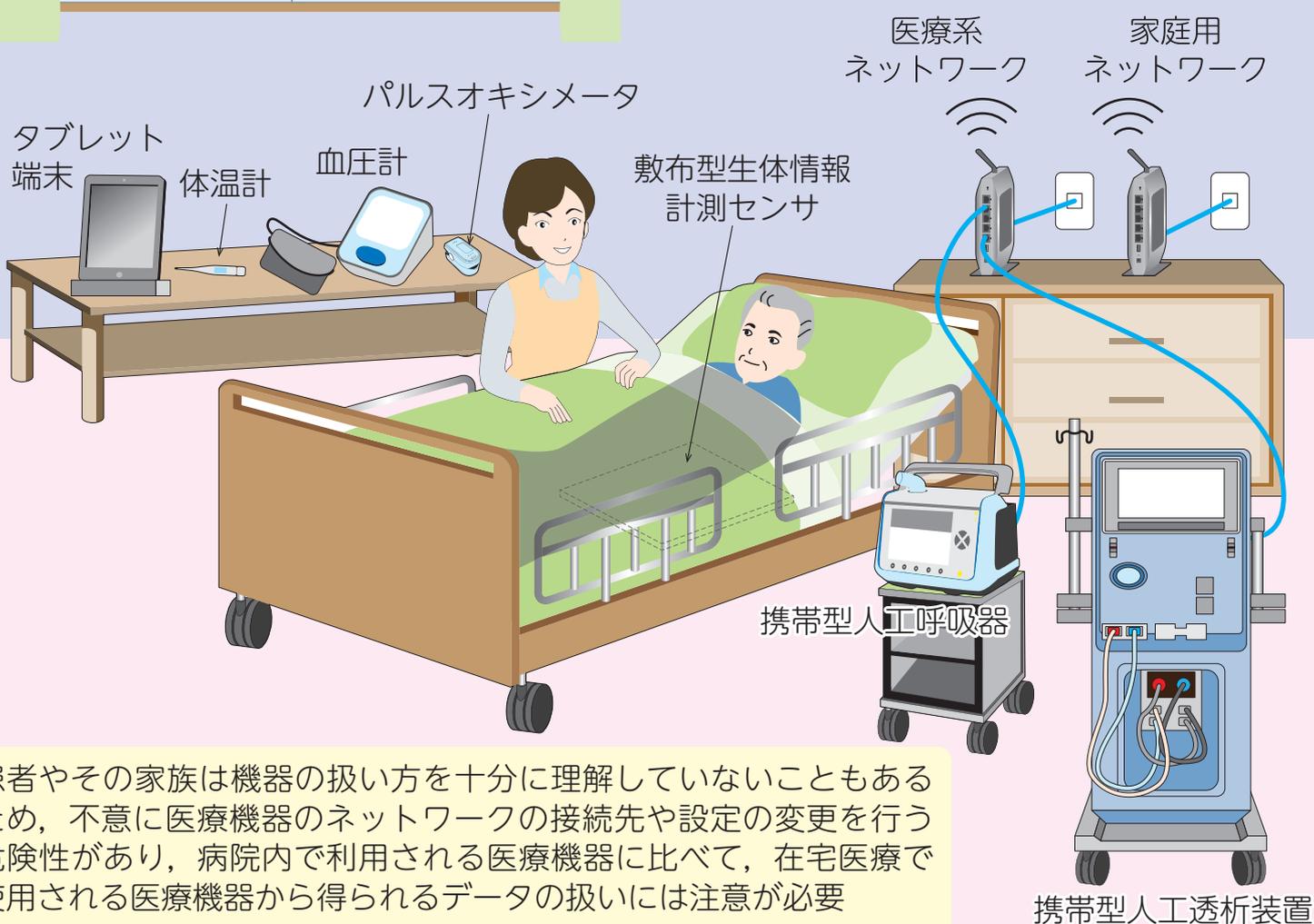
在宅医療の業務における

セキュリティ チェックポイント

〈患者とその家族への説明事項〉

- ネットワークの配線は変えない
- マルウェアへの感染を防ぐため、医療機器の USB ポートにフラッシュメモリなどを差し込まない
- 不正アクセスを防ぐため、タブレット端末はログインしたまま放置しない

- 医療機器は日常用途と分けた携帯電話網などの専用ネットワークを準備し、接続する



患者やその家族は機器の扱い方を十分に理解していないこともあるため、不意に医療機器のネットワークの接続先や設定の変更を行う危険性があり、病院内で利用される医療機器に比べて、在宅医療で使用される医療機器から得られるデータの扱いには注意が必要

医療機関より在宅に医療機器を持ち出す、また在宅医療で使用された医療機関を医療機関に持ち帰り、プライベートネットワークに接続する際は、事前に動作確認を行う



臨床工学テキスト
医療機器運用管理のための
情報セキュリティ
土肥健純・佐々木良一・肥田泰幸 監修
東京電機大学出版局

書籍情報は
「セキュリティチェックポイントポスター」
もダウンロードできます (FREE)

